

学校評価だより



～中間自己評価～

令和3年10月 発行

珠洲市立宝立小中学校

令和3年度中間期の学校評価として、生徒・保護者・教職員アンケートをもとに自己評価を行いました。1学期にとりましたアンケート結果や自己評価の結果（裏面）を含めて、今後の取組についてお知らせ致します。

今後の取組を進めるにあたっては、ご家庭のご協力をお願いしなければならないものもございます。何卒、本校の教育活動をご理解の上、ご協力をお願い致します。

本校の教育目標 ふるさと宝立の自然や人に学び、たくましく生き抜く子の育成

目指す生徒像 ◇確かな学力を身に付けた子(知育) ◇思いやりがあり心豊かな子(徳育) ◇健康・安全を育み守る子(体育・食育)

本年度重点項目

(1) よく考え、確かな学力を身につけた子の育成 (2) 思いやりのある、豊かな心をもった子の育成 (3) たくましい体力と気力をもった子の育成 (4) ふるさとを愛する心をもった子の育成 (5) プロ意識をもち、信頼される教師集団

(1) よく考え、確かな学力を身につけた子の育成

- 「根拠、理由を明らかにして、自分の考えを説明する力」の育成を意識した授業実践が行われています。【教Ⅱ-3】
- ▲Ⅱ期の重点である「友達と自分の考えを比べて」の視点においては、課題があります。【児生3, 教Ⅱ-2】
- ▲家庭学習については、昨年度に引き続き、学年が上がるにしたがって取り組んだ割合が低くなっています。【児5, 保3】



《改善策》

- ◇Ⅰ期の重点「見方・考え方を働かせて、課題を説明しよう」の取組について、積極的に進めましたが、難しい内容だけにまだ十分できていないと感じている教職員もいます。Ⅱ期においては、より具体的に内容を提案し、共通実践を行っていきます。
- ◇授業において「友達と自分の考えを比べる」ために、対話を取り入れた授業実践を行っていきます。
- ◇家庭学習について、2学期初めにやり方の説明や、指導の改善を行う必要があります。また、あまり結果が悪くない前期課程のうちから改善策を考え、全校で共通した対応することも大切に行っていきます。

(2) 思いやりのある、豊かな心をもった子の育成

- ▲挨拶・自問清掃に関する子どもの回答は、教職員の回答とズレがあります。子どもと教職員の「できた」という意識には乖離があるようです。【児生11, 教Ⅲ-2】
- ▲保護者の「子どもの内面を理解している」に関しては、C基準の回答が一部見られます。【保7】



《改善策》

- ◇挨拶運動は、形骸化しないよう、昨年度より回数を減らし子供達の意識の向上を図っています。今年度は、第2週のみ行うやり方で、期間を限定して取り組んでいきます。
- ◇いじめ対応については、スピード感をもって、チームで対応できている現在の体制を今後も継続していきます。
- ◇児童生徒一人一人に対しての効果的な支援策について共通理解し、放課後の個別指導等に生かしていきます。

(3) たくましい体力と気力をもった子の育成

- ▲インターネット機器に関する項目について、児童生徒、保護者ともに学年が上がるにつれて「守れていない」の割合が高くなっています。【児生14, 保5】
- 交通ルールについては、ほとんど守れていました。【児生15】
- ▲5定点についての項目について、学年が上がるにつれて、「意識できていない」の割合が高くなっています。【児生16】
- ▲児童生徒の安全を守るために努力しているかという項目で、「あてはまらない」の回答が一定数見られました。【保12】



《改善策》

- ◇インターネット機器の使用について、子ども自らがルールについて考え、自分たちで使用についてのルールを話し合う場を設定していきます。
- ◇交通ルールについて、タスキ、ヘルメットの着用について再度呼びかけが必要です。
- ◇「寝る時間」が遅いと思われます。インターネット機器の使用と5定点については、一緒に指導していく必要があると思います。
- ◇「安全」については、考えられる範囲が広いので、分析が必要です。

(4) ふるさとを愛する心をもった子の育成

- ▲コロナ禍で、外部との交流する機会を作ることができなかったことや、「ふるさと珠洲科」などのカリキュラムが計画通り実施できなかったため、外部と連携した授業が十分に実践できていません。【教Ⅰ-3】



《改善策》

- ◇タイミングを逃さず、計画的に外部との交流を設定していきます。
- ◇夏休み中に前期・中期・後期の各ブロックで、「ふるさと珠洲科」の打合せ会を行い、現状に合わせて計画を立てました。今後、計画に沿って実践していきます。
- ◇来年度は、この打合せ会を、ゴールデンウィーク明けの早い時期に行い、状況に合わせて、1学期中から外部との交流を行うことができるようにします。

(5) プロ意識をもち、信頼される教師集団

- ▲働き方改革について、退勤時間については改善されていますが、まだまだ改善の余地があります。【教Ⅳ-3】



《改善策》

- ◇珠洲市一斉の定時退校日は、「特別な日」という意識を持ち、行動するように呼びかけていきます。
- ◇切り日の設定について工夫をしていきます。
- ◇見通しをもって取り組むことが出来るように、段取りを行います。(前年度のものを例として渡すなど。)
- ◇ICT化を進めることで、会議や研修の進め方での効率化を図っています。

児童生徒アンケート結果

質問内容	前期	中期	後期
1 授業では、自分の考えや意見を持つことができる。	94.4%	100.0%	90.9%
2 話し合うときに自分の考えをその理由や根拠と共に伝えようとしている。	94.4%	95.8%	72.7%
3 話し合うときに友だちの考えを聞いて、自分の考えとくらべている。	77.8%	87.5%	54.5%
4 授業の内容はよくわかる。	100.0%	100.0%	81.8%
5 家庭学習の時間を守って取り組んでいる。(塾や児童クラブを含めて)	97.2%	95.8%	63.6%
6 地域(町・市)の自然や人から学べたことがあると思う。	88.9%	91.7%	81.8%
7 学校が楽しいと思う。	100.0%	87.5%	83.1%
8 学校や家庭、地域で元気なあいさつや返事ができる。	100.0%	91.7%	94.4%
9 給食では、苦手なものも残さず食べている。	94.4%	100.0%	97.2%
10 こまっている友だちがいたら、声をかけたり助けたりしている。	91.7%	100.0%	93.0%
11 自問清掃に取り組むことができる。(前期は、それに準じて)	100.0%	100.0%	98.6%
12 先生は、がんばったことに対してほめたり、認めたりしていると思う。	97.2%	91.7%	90.1%
13 地域の行事があれば進んで参加している。	83.3%	83.3%	45.5%
14 夜9時までに、自分の持っているインターネットに接続できる機器を保護者に預けている。(9時以降使用していない)	83.3%	54.2%	36.4%
15 交通ルールを守っている。(中学生は安全たすきの着用)	97.2%	100.0%	100.0%
16 5定点(早寝、早起き、朝昼夕ご飯の時間)を意識して生活している。	88.9%	87.5%	45.5%



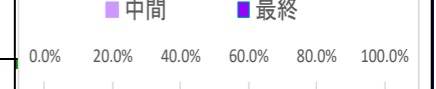
保護者アンケート結果

質問内容	前期	中期	後期
1 お子さんは、「楽しそうに学校へ行っている」と思いますか。	100.0%	95.8%	45.5%
2 お子さんは、ご家庭で、元気なあいさつや返事ができていますか。	80.6%	70.8%	72.7%
3 お子さんは、毎日、時間を守って家庭学習に取り組んでいますか。	88.9%	75.0%	45.5%
4 お子さんは、毎朝、朝食を食べていますか。	94.4%	100.0%	100.0%
5 お子さんは夜9時までに、自分の持っているインターネットに接続できる機器を保護者に預けたり、家庭のルールを守ったりしていますか。	86.1%	62.5%	36.4%
6 本校の教職員は、授業がわかりやすいように工夫していると思いますか。	100.0%	95.8%	81.8%
7 本校の教職員は、子どもたちの気持ちや内面を理解しようとしていると思いますか。	88.9%	95.8%	87.3%
8 本校の教職員は、保護者との連絡を密にしていると思いますか。	86.1%	79.2%	81.7%
9 学校は、保護者や地域の声を受け止め、ていねいに対応していると思いますか。	83.3%	91.7%	87.3%
10 学校は、いじめや問題行動等の未然防止や早期発見に努めていると思いますか。	100.0%	87.5%	90.1%
11 学校は、教育方針や活動内容をわかりやすく伝えていると思いますか。	88.9%	87.5%	84.5%
12 学校は、児童生徒の安全を守るために努力していると思いますか。	97.2%	87.5%	91.5%



教職員アンケート結果

質問内容	中間	最終
I-1 宝立授業スタンダードに基づいて、授業を実践している。	94.4%	
I-2 各期で付けた力(前期【習得】、中期【活用】、後期【探究】)を育む学習活動を、各教科の単元指導計画に位置づけて指導している。	83.3%	
I-3 地域の教材を活用した授業やGTを活用した教育活動を、効果的に取り入れている。	44.4%	
II-1 授業の中で、課題とまとめを板書している。	100.0%	
II-2 授業の中で、自分の考えを伝え合う学習活動を取り入れている。	83.3%	
II-3 児童生徒は、自分の考えの根拠や筋道を明確にして説明している。	77.8%	
II-4 個人で設定した教科の授業の中で、見方考え方を働かせて自力解決する学習活動を取り入れている。	77.8%	
II-5 授業の中で、振り返りを行っている。	66.7%	
II-6 校内研修は、指導法改善に役立っている。	100.0%	
III-1 児童生徒は、元気にあいさつや返事をしている。	77.8%	
III-2 児童生徒は、自問清掃(前期は、それに準じて)に取り組んでいる。	83.3%	
III-3 学校の取組として、望ましい人間関係づくりを育むために縦割り活動等が計画的・効果的に取り入れられている。	94.4%	
III-4 計画的・効果的に道徳の授業に取り組む、思いやりのある人間関係を育てている。	94.1%	
III-5 いじめアンケートやQUSCを活用した面談をもとに、いじめの早期発見・未然防止に努めている。	100.0%	
III-6 いじめ問題対策チームを中心に、組織的に対応している。	100.0%	
III-7 気づき票を活用して児童生徒の実態を把握し、必要に応じて支援している。	70.6%	
IV-1 学級や給食時間等で5定点(早寝、早起き、朝昼夕ご飯の時間)に関する指導に取り組んでいる。	94.1%	
IV-2 児童生徒は、5定点(早寝、早起き、朝昼夕ご飯の時間)や安全に気をつけて行動している。	72.2%	
IV-3 ワークライフバランスをきむタイムマネジメント等の意識改革を図るために、「本校の働き方改革の実践」に取り組んでいる。	66.7%	
V-1 地域・家庭からの学校評価が学校運営の改善に生かされている。	100.0%	
V-2 学校の取組として、地域の各種団体(学校等を含む)との連携が計画的・効果的に図られている。	100.0%	



肯定的に回答(4または3を選択)した合計の割合を、判定基準の一つとして下記のようにアンケート結果を評価しています。また、○評価と判定した項目(朱書き)については指導・改善を要する内容にとらえ、速やかに改善策を考え対応していきます。

- ☆児童生徒アンケート A(4または3が前期:95%、中期:90%以上、後期:90%以上) B(前期:80%、中期:75%、後期:70%以上) C(それ以下)
- ☆保護者アンケート A(4または3が90%以上) B(70%以上) C(それ以下)
- ☆教職員アンケート A(4または3が90%以上) B(70%以上) C(それ以下)